

本町へ鉄軌道の導入を今すぐに



玉城 光雄 議員

問 沖縄県は鉄軌道の導入が本土と比べて100年近く遅れをとっている。鉄軌道の整備を早期に導入すべきではないか。那覇空港から泉崎バスセンターを経由し、国道329号を通り、国道331号の南城市安座真サンサンビーチを終点とするルート計画はどうか。南部の国際化都市形成を推進するために、東南アジアの玄関口とした鉄軌道計画を要請できないか。

副町長 現時点では導入に向けた具体的な話し合いは持たれていない。

一億国民の国旗、世界にアピールを

問 国旗掲揚は内閣府大臣総務課の所管で、「国旗及び国歌に関する法律（平成11年法律第127号）」の中で「国旗は日章旗とする」と明記されている。一億国民を担って、法の定める国旗を本町の役場庁舎前に終日掲揚できないか。日本国の誇れる国旗を掲揚することで世界に広く、大きくアピールすることができないのではないか。

副町長 国旗掲揚は今後も慎重に対応をしたい。

町内事業者を限定とした入札を図れ

問 南風原与那原バイパスの工事入札制度について提案する。南風原町内部分の工事については、企業支援の目的から、すべて町内事業者とし、かつ本町に3年間以上、事業所の住所を有した限定での入札を実行させることができないか。

副町長 南部国道事務所は一般競争入札の総合評価方式による入札を実施していくと確認した。

商業街の扉を開け

問 照屋前原地区は、国道507号の通過地点であり、商業地域として最適である。食料館を誘致できないか。また、食料館などの企業や事業者の安定を図るため、津嘉山の安平田原地区に300世帯規模の団地を誘致してはどうか。そうすることで、本町の商業街の扉を開くことが図れるのではないか。

副町長 両地区は土地利用構想の新規産業ゾーンに含まれる。今後、新規産業地区開発の具体的な取り組みのなかで検討したい。

